

私たちは、命のつながりに思いを馳せる暮らしを提案し、心豊かな生き方のお手伝いをします。

創業 明治44年 命のつながりを想う

発行 有限会社 長門屋  
編集：未来の種まき委員会  
990-0042  
山形市七日町 1-4-12  
TEL 023-622-2204  
FAX 023-622-2203  
http://oshironomise.com  
2023年新春 第39号

# あどつあま

“あどつあま”とは…

仏様をさす方言。米沢の方では住職様、僧侶をさすそうです。  
宗教の知識を通してお役にたてれば嬉しいです。



お城の店が目印です。

2022年は こんなことがありました！  
皆さまからのご厚情に、心より御礼申し上げます。

## 長門屋の五大ニュース！



ひなた蔵での展示の様子



浅野さんと笹林

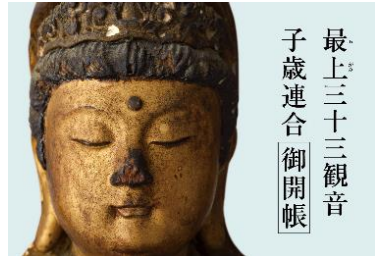
1. 2022 山形ビエンナーレ（芸工大主催）に会場貸し出し。  
ひなた蔵での浅野友理子さんの「草木往来」展。

9月、東北の植物を取り上げた浅野さんの作品と、命のつながりを  
想う長門屋の生業が、敷地内の蔵で重なり合いました。

2. 最上三十三観音の2年遅れの御開帳。

巡礼用品を求めるお客様が続々来店。

秘仏の観音様に出会える14年ぶり御開帳（5～10月の半年間）。  
巡礼用品コーナーを設けた店内は一時期、札所の案内所のような様子でした。



最上三十三観音  
子歳連合御開帳



10代～70代という幅広い年齢層の方にご  
参加いただき交流ができました



3. 「まちゼミ」（山形市商店街連合会主催）にて、  
「お仏壇の修復・リメイク工房見学会」を開催。

11月に2日間にわたり開催した見学会の中に、お仏壇に関心の  
高い大学1年生の女子学生さんが2人もいたことが驚きでした。

4. 市内の新しい永代供養墓を巡る社内見学ツアーを実施。

かつて、お墓のない人の選択肢は「建てる」か「永代供養で合祀する」の  
2択でしたが、今はその中間の[賃貸マンション型の新しい選択肢]が市内の  
お寺さんから提案されています。私たちも勉強に出かけてきました。



漆山の浄土院さんにて

5. 山大1年生インターンシップ受け入れ。

今年で7年目の受け入れです。今年は9月の3日間、理学部理学科  
一年生の齋藤和歌奈さんにお客様宅への訪問や、仏壇職人の工房見学、  
モダンなお仏壇講座の案内サポートなどを経験していただきました。



スタッフの私たちも「働くとは何か」と問いかけられ、  
自社や自分を見つめる機会になりました

# 長門屋スタッフ 新年の抱負を込めた「私の一文字」



きく  
**聴**

「聞く」は自然に耳に入る。「聴く」は積極的に聴く。人の声や自然の音に耳を傾けると同時に、自分の心の声や体の声にも耳を澄ませたいです。

菅林陽子

庭の草木が芽吹いて、花が咲き、そして、花が落ち、葉が紅葉しそれが、散る。毎日頑張っている落ち葉掃き。来年もまたできるかなあ。

山口雪江

はく  
**掃**



とし  
**年**

2023年ついに50才に。振り返るとあっという間に感じます。一年一年いい年をとっていきたいです。

国島潤一

行を積み増すことであり、行動に移すこと、物事を前に進めること。立ち止まらないこと。とりあえず、もがいて動いてみる。それらを止めないこと。そんな全ての意味を込めて“行”の一年にしたいと思います。

後藤久嗣

ぎょう  
**行**



いち  
**一**

漢和辞典の最初に載っている漢字で、6ページも用いて説明している。何事も多い方が良い。

斎藤金五郎

ししはくと  
「獅子搏兔」簡単で労力のかからないことでも全力で取り組んでいくという意味の四字熟語。何事にも全力で取り組んでいきたいと思っています。

小瀧美樹

しし  
**獅**



おもんばかり  
**慮**

世界情勢や感染症など不安なことが多いですが、だからこそ様々な状況にいる方がいることを慮り行動できればと思います。

北條有希



2023年は、卯年です。  
兔にあやかり、飛躍する年になりますように。

2023年も、どうぞよろしくお願いいたします。